17. 200海里水域内漁業資源調査

A 太 平 洋

Ⅰ 調 査 目 的

我が国200海里漁業専管水域の設定に伴い，当該水域内における漁業資源を科学的根拠に基づいて評価し，漁獲許容（可能）量等の推計に必要な関係資料を整備する。

Ⅱ 調 査 内 容

1. 調査期間……昭和52年9月～昭和53年3月
2. 調査海域……太平洋（200海里水域内）
3. 担当者，調査員および標本船
   (1) 担 当 者……調査部長　斎藤 重男　主任研究員　十三 邦昭
   (2) 市場調査員
      (イ) 八戸漁業協同組合連合会　渉外室長　榊　昭一
      (ロ) 〃　職　員　橋本幸男
   (3) 標 本 船
      (イ) スルメイカ漁船　11隻（ 9.65～ 19.52トン）
      (ロ) アカイカ漁船　2隻（ 98.76～ 98.77トン）
4. 調査項目
   (1) 精 密 測 定
   (2) 体 長 組 成
   (3) 標本船調査
   (4) 操 業 海 域
5. 調査方法
   (1) 精 密 調 査

   調査海域は太平洋であり，当場で実施することが困難であるため東北区水産研究所八戸支所に代行してもらった。

   (2) 体長組成調査

   市場調査員（浮魚関係1名，底魚関係1名）より送付された資料を当場に於て整理し，東北区水産研究所八戸支所に提出した。

   (3) 標 本 船 調 査

八戸漁業協同組合連合会に依頼し，スルメイカ11隻，アカイカ２隻の標本船を設定し，操業実能細目表を漁連に渡した。

Ⅲ 調 査 結 果

1. 精 密 調 査

調査海域の関係上東北区水研八戸支所が代行して実施したが，９～11月にかけてマサバ６回（326尾，37.5%），マイワシ４回（200尾，25%），９～12月にかけてスルメイカ２回（70尾，7.1%），アカイカ４回（159尾，14.3%），スケソウダラ11回（559尾，157.1%），キチジ10回（311尾，142.8%），ババガレイ11回（318尾，157.1%）調査し，浮魚関係では実績は計画の$\frac{1}{2}$にも達しなかったが，底魚関係に於ては計画以上に実施した。

2. 体長組成調査

(1) マ サ バ

12回（3,775尾，37.5%）実施した。

９月……尾叉長は20～33cmの範囲に分布し，モードは26cm

10月……尾叉長は15～41cmの範囲に分布し，モードは26cm

11月……尾叉長は20～42cmの範囲に分布し，モードは26.27cm

であり月により魚体差に大きな変化は認められないが，調査期間を総合してみると尾又長は15～42cmの範囲に分布し，モードは26cmに認められ１年魚主体と思われる。

(2) マ イ ワ シ

５回（1,653尾，15.6%）調査を実施した。

10月……体長は11.5～24cmの範囲に分布し，モードは17.5 cm

11月……体長は12.5～20.0cmの範囲に分布し，モードは17.0 cm

で月による魚体差は認められない。

10～11月にかけての体長は11.5～24cmで，モードは17.5cmに認められ中羽主体であった。

(3) スルメイカ，アカイカ

僅か１回の調査で詳細は不明である。

(4) スケトウダラ

７回（570尾，100%）調査を実施した。

９月……体長は34～56cmの範囲に分布し，モードは37cm

10月……体長は20～47cmの範囲に分布し，モードは36 cm

11月……体長は21～47cmの範囲に分布し，モードは43cm

12月……体長は25～53cmの範囲に分布し，モードは39cm

１月……体長は22～49cmの範囲に分布し，モードは43cm

2月……体長は26～46cmの範囲に分布し，モードは37cm

3月……体長は27～51cmの範囲に分布し，モードは36cm

以上調査期間を総合してみると体長は20～56cmの範囲に分布し，モードは37cmに認められる。

(5) キ チ ジ

7回（645尾,100%）調査を実施したが，9月の千島分を除去した。

10月……体長は14～28cmの範囲に分布し，モードは16cm

11月……体長は11～28cmの範囲に分布し，モードは21cm

12月……体長は10～31cmの範囲に分布し，モードは17. 19cm

1月……体長は12～24cmの範囲に分布し，モードは17cm

2月……体長は10～22cmの範囲に分布し，モードは15. 16cm

3月……体長は10～17cmの範囲に分布し，モードは16cm

以上調査期間を総合してみると体長は10～31cmの範囲に分布し，モードは16cmに認められた。

(6) ババガレイ

7回（531尾,100%）調査を実施した

9月……体長は20～38cmの範囲に分布し，モードは22cm

10月……体長は17～38cmの範囲に分布し，モードは29cm

11月……体長は17～39cmの範囲に分布し，モードは30. 33cm

12月……体長は16～38cmの範囲に分布し，モードは20 cm

1月……体長は18～41cmの範囲に分布し，モードは21cm

2月……体長は22～46cmの範囲に分布し，モードは28cm

3月……体長は22～44cmの範囲に分布し，モードは32. 39cm

で3月の魚体が大きく，12月が最も小さいが，調査期間を総合して体長をみると15～46cmの範囲に分布し，モードは29cmに認められた。

(7) メ ヌ ケ

10～12月にかけて4回（120尾）調査を実施したが，北千島周辺の漁獲物であった。（200海里外）

3. 標 本 船 調 査

計画としてはスルメイカ漁船8隻，アカイカ漁船2隻で実施の予定であったが，市場調査員などの都合もあり9月よりスルメイカ漁業11隻，アカイカ漁業2隻で実施したが，どの漁船も日本海，太平洋で操業し随って操業実態細目表も太平洋，日本海の両海区の操業記録を記載しているため，この中より太平洋分を抜粋してＣＰＵＥの平均を月別，海域別にみた。

(1) スルメイカ標本船（11隻）

9月……出漁日数は僅か17日で5尾以下が多い

10月……出漁日数は75日で9月同様に漁況は不振で1～3尾が多い。

11月……出漁日数は87日で前月同様1～3尾が主体で漁況は不振であった。

12月……出漁日数は31日で1～3尾と漁況は不振であった。

(2) アカイカ標本船（2隻）

9月だけの操業で他は日本海のスルメイカ漁業に従事している。

9月は24日出漁し殆んど10～16尾でスルメイカに比べ若干よい漁となっている。

(3) 操業海域

体長組成の魚種は図10－13の操業海域より漁獲されたものである。

Ⅳ 調査成果および今後の課題

1. 調査の成果

(1) 浮魚，底魚の魚体の大きさ，生態についての知見を得た。

(2) 標本船による月別，漁場別の漁獲量を把握した。

第1表　生物測定（計画）

魚種	海域	調査港	サンプリングの区別	回数	時期	1回当り尾数	測定項目
マサバ	三陸北部	八戸	標本船 一般 市場水揚魚	延16回（月4回） 延32回（月8回）	8～11月（4ケ月）	50尾 300尾	尾叉長，体重，性別 年令，胃内容物 尾叉長測定
マイワシ	〃	〃	〃 〃	延16回（月4回） 延32回（月8回）	8～11月（4ケ月）	50尾 300尾	体長，体重，性別， 年令，胃内容物 体長測定
カタクチイワシ	〃	〃	一般 市場水揚魚	延24回（月4回）	〃	100尾	体長，体重 体長測定
スルメイカ	三陸	〃	標本船 一般 市場水揚魚	延28回（月4回） 〃	6～12月（7ケ月）	50尾 50尾	外套長，体重，性別 生殖腺重量，その他 外套長測定
アカイカ	〃	〃	〃 〃	〃 〃	8～1月（6ケ月）	〃 〃	〃 〃
スケトウダラ	尻矢	〃	〃 〃	延7回（月1回） 〃	9～3月（7ケ月）	30尾×銘柄数 〃	体長，体重，性別， 生殖腺重量，その他 体長測定
キチジ	〃	〃	〃 〃	〃 〃	〃	〃 50尾×銘柄数	〃 〃
ババガレイ	〃	〃	〃 〃	〃 〃	〃	30尾×銘柄数 50尾×銘柄数	〃 〃
メヌケ	〃	〃	一般 市場水揚魚	延7回（月1回）	〃	30尾	体長測定

実　　績

魚　　種	海域	調査港	サンプリングの区別	回　　数	時　　期	1回当り尾　数	測定項目	備　　考
マ　サ　バ	三陸北部	八戸	標本船 一　般 市場水揚魚	9月……1回 10月……3〃 11月……2〃 9月……1〃 10月……8〃 11月……3〃	9～11月 （3ケ月）	50尾 300〃	計画に同じ	計画16回 実施6回 37.5% 計画32回 実施12回 37.5%
マ　イ　ワ　シ	〃	〃	〃 〃	10月……3〃 11月……1〃 10月……4〃 11月……1〃	9～11月 （3ケ月）	50〃 300〃	〃 〃	計画16回 実施4回 25% 計画32回 実施5回 15.6%
カタクチイワシ	〃	〃	一　般 市場水揚魚	0	9～11月 （3ケ月）	100〃	〃 〃	0
スルメイカ	三陸	〃	標本魚 一　般 市場水揚魚	9月……1〃 11月……1〃 9月……1〃	9～12月 （4ケ月）	50〃 50〃	〃 〃	計画28回 実施2回 7.1% 計画28回 実施1回 3.6%
ア　カ　イ　カ	〃	〃	〃 〃	10月……2〃 11月……1〃 12月……1〃 9月……1〃	9～12月 （4ケ月）	〃 〃	〃 〃	計画28回 実施4回 14.3% 計画28回 実施1回 3.6%
スケトウダラ	尻矢	〃	〃 〃	9月…1　12月…2 10月…1　1月…2 11月…1　2月…2 9月…1　3月…2 10月…1　12月…1 11月…1　1月…1 　　2月…1 　　3月…1	9～3月 （7ケ月）	30尾 ×銘柄数 〃	〃 〃	計画7回 実施11回 157.1% 計画7回 実施7回 100%
キ　チ　ジ	〃	〃	〃 〃	9月…1　12月…2 10月…0　1月…2 11月…1　2月…2 9月…1　3月…1 10月…1　12月…1 11月…1　1月…1 　　2月…1 　　3月…1	〃	〃 50尾 ×銘柄数	〃 〃	計画7回 実施10回 142.8% 計画7回 実施7回 100%
ババガレイ	〃	〃	〃 〃	9月…1　12月…2 10月…1　1月…2 11月…1　2月…2 9月…1　3月…2 10月…1　12月…1 11月…1　1月…1 　　2月…1 　　3月…1	〃	30尾 ×銘柄数 50尾 ×銘柄数	〃 〃	計画7回 実施11回 157.1% 計画7回 実施7回 100%
メ　ヌ　ケ	〃	〃	一　般 市場水揚魚	10月……2回 11月……1回 12月……1回	〃	30尾	〃 〃	計画7回 実施4回 57.1%

第2表　市場調査員（計画）

調査港名	人員	配置時期	実施者	魚種	備考
八戸	1	8 ～ 11月	八戸漁連（橋本 幸男）	マサバ	第一魚市場（浮魚関係）
		8 ～ 11月	〃	マイワシ	
		8 ～ 12月	〃	スルメイカ	
		8 ～ 1月	〃	アカイカ	
八戸	1	9 ～ 3月	八戸漁連（榊 昭一）	スケトウダラ	第二魚市場（底魚関係）
		〃	〃	キチジ	
		〃	〃	ババガレイ	
		〃	〃	メヌケ	

（実績）

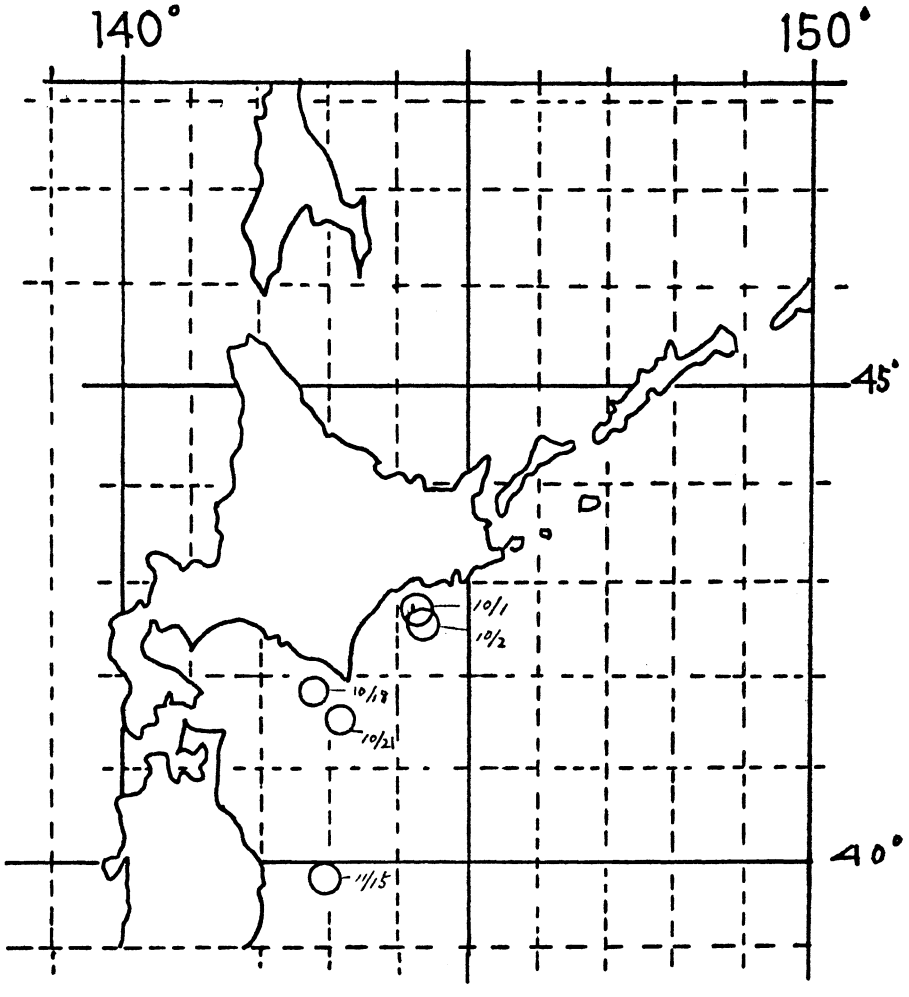
調査港名	人員	配置時期	実施者	魚種	備考
八戸	1	9 ～ 11月	八戸漁連（橋本 幸男）	マサバ	9 ～ 11月
		〃	〃	マイワシ	10 • 11月
		9 ～ 12月	〃	スルメイカ	9 • 11月
		9 ～ 12月	〃	アカイカ	9 ～ 12月
八戸	1	9 ～ 3月	八戸漁連（榊 昭一）	スケトウダラ	9 ～ 3月
		〃	〃	キチジ	〃
		〃	〃	ババガレイ	〃
		〃	〃	メヌケ	〃

第3表　標本船設定（計画）

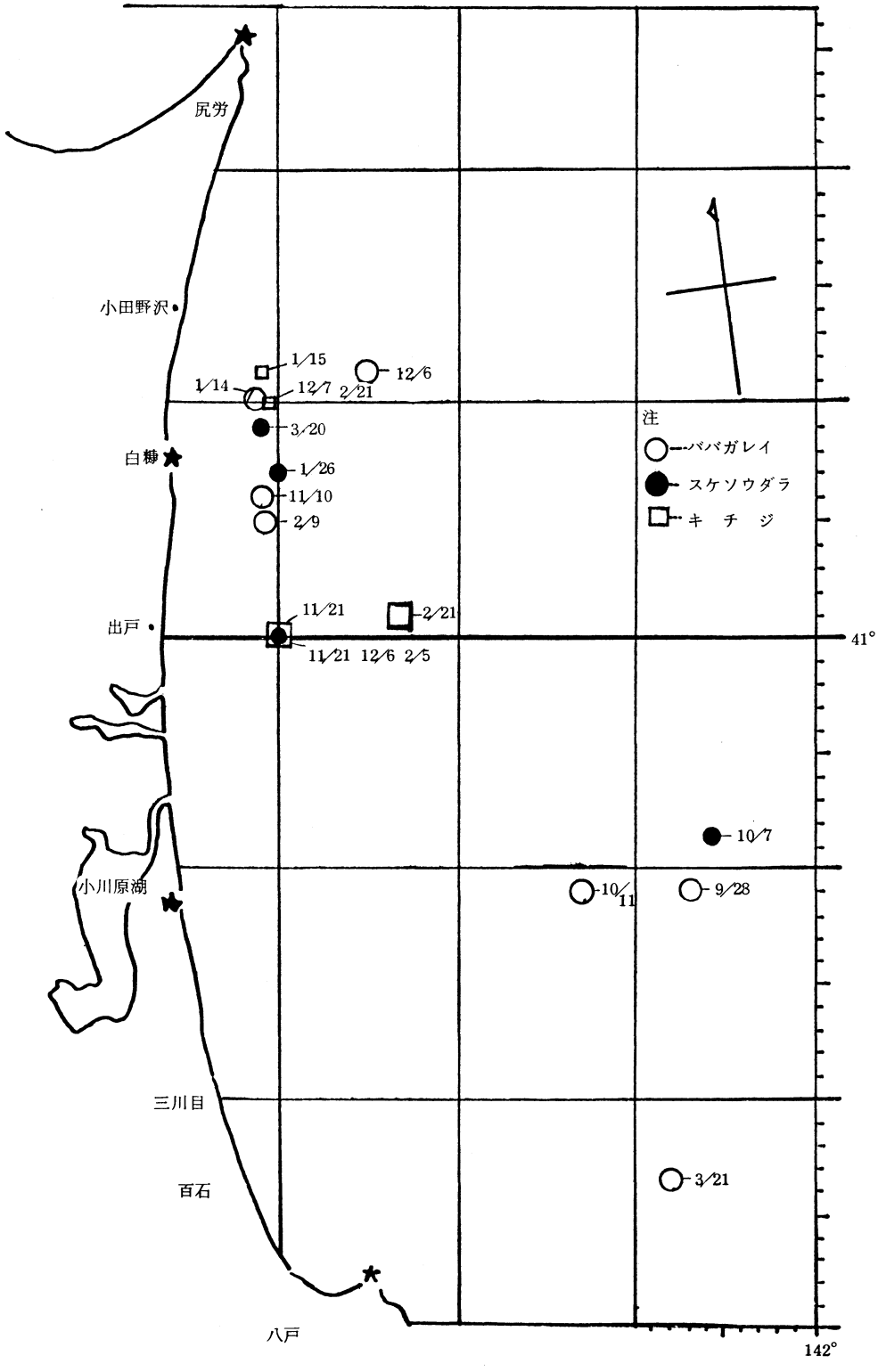
漁業種類名	漁船規模	隻数	依頼時期	備考
スルメイカ漁業	5トン以上	8	8 ～ 12月	
アカイカ漁業	〃	2	8 ～ 1月	

（実績）

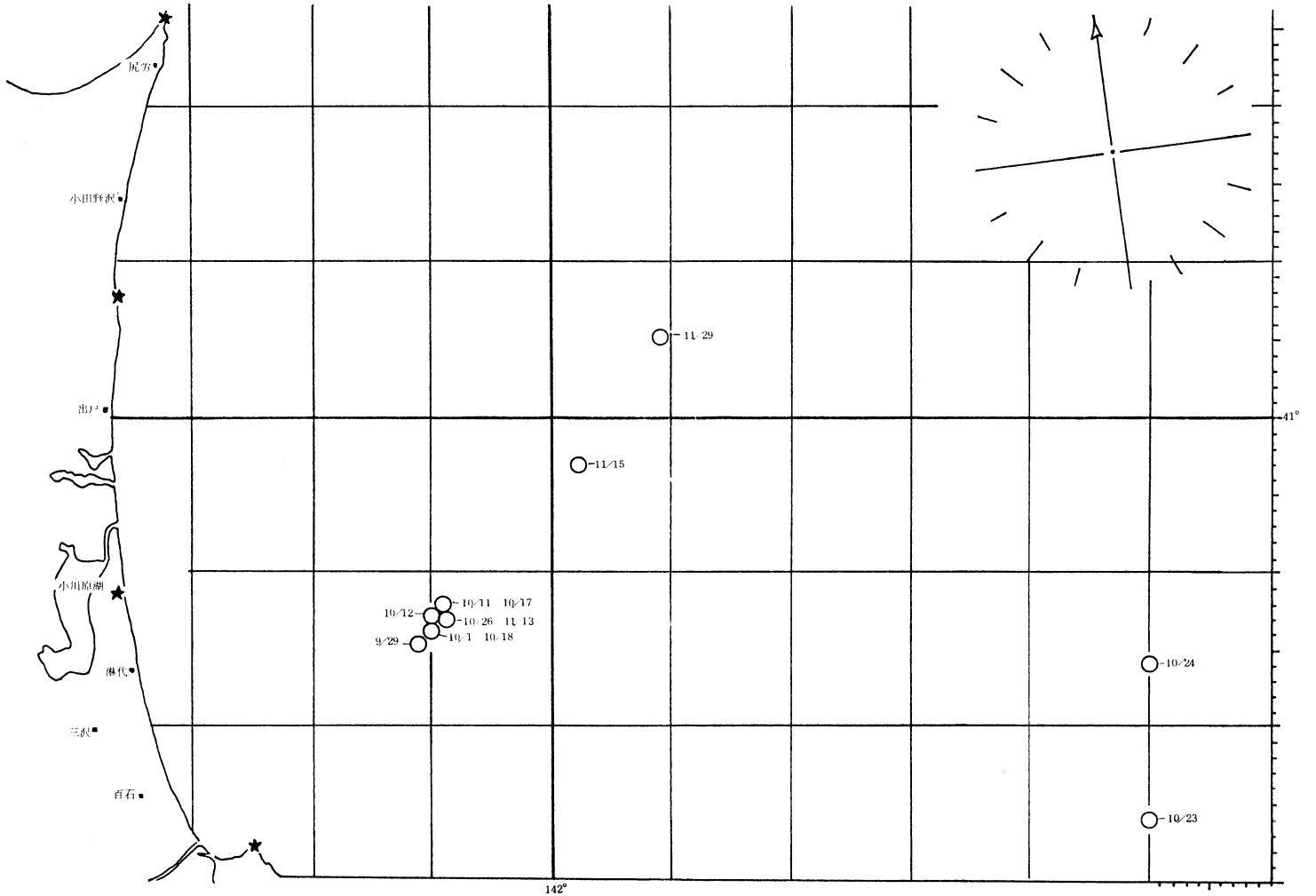
漁船種類名	漁船規模	隻数	依頼時期	備考
スルメイカ漁業	9.65～19.52トン	11	9 ～ 12月	
アカイカ漁業	98.76～98.77トン	2	9 ～ 12月	



第 1 図　　マ イ ワ シ 操 業 海 域


尻労
小田野沢
白糠
出戸
小川原湖
三川目
百石
八戸
1/15
12/6
1/14
12/7
2/21
3/20
1/26
11/10
2/9
11/21
2/21
11/21 12/6 2/5
10/7
10/11
9/28
3/21
41°
142°
注
ババガレイ
スケソウダラ
キ チ ジ

第 2 図　　底 魚 操 業 海 域


尻労
小田野沢
出戸
小川原湖
淋代
三沢
百石
11/29
11/15
10/11
10/17
10/12
10/26
11/13
9/29
10/1
10/18
10/24
10/23
41°
142°

第3図　マ サ バ 操 業 海 域

B. 日　　本　　海

Ⅰ 調 査 目 的

我が国200海里漁業専管水域の設定に伴い，当該水域内における漁業資源を科学的根拠に基づいて評価し，漁獲資源（可能）量等の推計に必要な関係資料を整備する。

Ⅱ 調 査 内 容

1. 調 査 期 間　昭和５２年８月から５３年３月
2. 調 査 海 域　日本海（200海里水域内）
3. 調 査 担 当 者　市場調査員及び標本船

(1) 調 査 担 当 者　漁業部　部長　富 永 武 治
　　技師　鈴 木 史 紀

(2) 市 場 調 査 員

鰺ケ沢漁業協同組合　職員　長 尾 敏 彦

深浦漁業協同組合　職員　中 川 善 文

(3) 標　本　船

1）鰺　ケ　沢　スルメイカ漁船１隻（19.99トン）
　　ヤリイカ漁船　１隻（4.92トン）

2）深　　浦　大型定置網　２ケ統

4. 調 査 項 目

1）標本船による操業実態

ケ　沢　スルメイカ１本
　　ヤリイカ底建網

深　　浦　ブリ定置網

2）生物調査（スルメイカ，ヤリイカ）

Ⅲ 調 査 方 法

1. 標本船による操業実態

スルメイカ標本船は，８月～12月まで１隻，ヤリイカ標本船は12月～３月まで１隻鰺ケ沢漁業協同組合に，又大型定置網２ケ統を10月～12月までの期間を深浦漁業協同組合にそれぞれ選定してもらい操業実態細目表を市場調査員より水産試験場に提出する。

2. 生 物 調 査

標本船から水揚げされたスルメイカ，ヤリイカについて月3回50尾づつの精密測定（外套背長・体重・性別・生殖　重量・胃内容物熟度）を行う。

Ⅳ 調 査 結 果

1. 標本船による操業実態

スルメイカ，ヤリイカの操業海域は第1図のとおりで，スルメイカ操業海域は従来から利用されている漁場でヤリイカ底建網・大型定置網も沿岸で利用されている漁場であった。

スルメイカの操業実態については，第1表に示したが，8月～12月までで延出漁日数は42日で，漁期後半には時化，漁況等の不振で出漁日数は減少した。漁獲量は615ケースで 4,131kgであった。

ヤリイカの操業実態については第2表に示したが，12月～3月までの出漁日数は延35日で，漁況は12月から漁獲され1月にピークとなり2月・3月の漁期後半になると漁況は不振に終った。漁獲量は 1,820ケース 7,105kgであった。

大型定置網の操業実態は10月から12月までの3ケ月間で，2ケ統の定置網で延出漁日数は86日でブリの入網状況は大ブリ 301尾，中ブリ 162尾，小ブリ61尾でハマチ・フクラゲ・ワラサ・マルゴを加えると 4,191尾，入網重量は 7,246kgであった。その他の魚種の入網状況は，10月にカワハギが約 6,000kg，メジ 157kg，ヒラマサ 381kg，マグロ40kgでサケの漁獲はみられなかった。11月にはサケ38,360kgの漁獲がみられ，その他ヒラマサ 215kg，ゴンタマグロ 6 kgであった。12月はサケ 14,120kg，ヤリイカ 2,495 kg，スズキ 430kgの漁獲があった。

2. 生 物 調 査

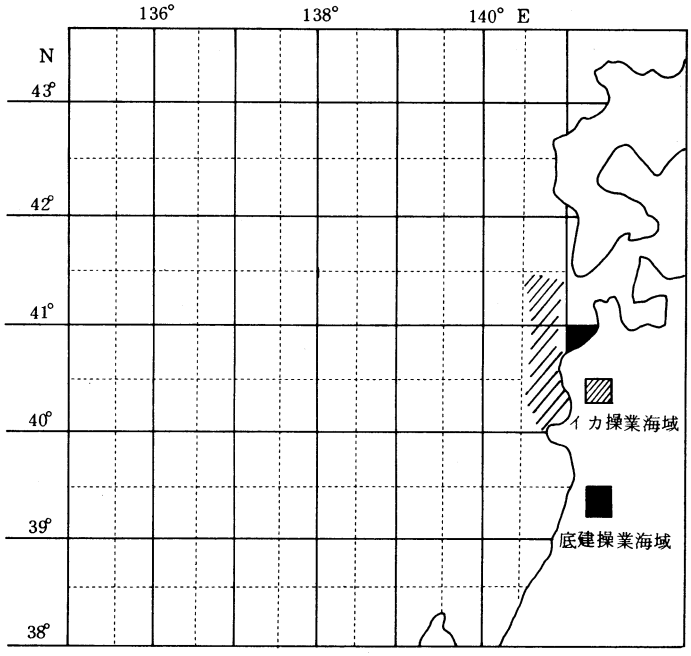
(1) スルメイカ

標本として使用したスルメイカは沿岸で漁獲されたもので，生物調査の概要は第4表に示したが延調査回数は8回で，♀ 195尾，♂ 199尾，計 394尾を調査したが，8月の調査段階から11月まで雌雄は大型から小型に推移しそれにつれ熟度・交接個体の割合が減り，11月には未熟個体が大半を占めた。又交接個体は認められなかったが，これは10月後半あたりから群の交代があったのではないかと思われる。

(2) ヤリイカ

ヤリイカの調査は延11回で雌 246尾，雄 338尾，計 584尾について行なった。魚体は雌が小型で，平均外套長は19.2cm～21.7cm，体重は 105.5g～ 125.3g であった。雄は大型で平均外套背長は24.3cm～28.1cm，体重は 176.7g～ 199.3 gで，熟度は12月を除き雌雄共に成熟状態を示しており，交接も1月45.3%，2月60.7%，3月53.5%と何れも高かった。

※ スルメイカ・ヤリイカの雌雄別外套背長組成は第6表・第7表に示した。



第1図　スルメイカ・ヤリイカ標本船操業海域図

第1表　スルメイカ標本船

項目／月	出漁日数	延操業時間	漁獲箱数	計	漁獲重量 kg	釣機数	主な操業海域
8	10	90.2	20 入 ― 23 C 30 〃 ― 95 〃 80 〃 ― 2 〃	120	614	10	
9	15	145.9	20入－ 21 C　70入－ 5 C 30 〃 －106 〃　80 〃 － 5 〃 60 〃 － 87 〃 100 〃 － 2 〃	226	2,076	8	
10	9	78.2	14入－ 5 C　50入－ 1 C 20 〃 －29 〃　100 〃 －13 〃 30 〃 －87 〃	135	771	8	
11	7	80	14 入 ― 25 C 20 〃 ― 53 〃 30 〃 ― 56 〃	134	670	8	
12	1	13.5	ナ　シ			10	
計	42	407.8	14入－ 30 C　60入－87 C 20 〃 －126 〃　50 〃 － 1 〃 30 〃 －344 〃　70 〃 － 5 〃 100 〃 － 15 〃　80 〃 － 7 〃	615	4,131	44	

第2表　ヤリイカ標本船

項目／月	出漁日数	延操業時間	漁獲箱数	計	重量 kg	統数	その他
12	4	21	12 入 ── 268 c 30 〃 ── 87 〃	355	1, 420	11	
1	14	85. 7	12入－141 c　15入－230c 13〃－149〃　17〃－120〃 14〃－120〃　30〃－225〃 35〃－105〃	1,090	4, 240	35	
2	12	47. 5	17入－ 81 c　37入－83 c 20〃－121〃 35〃－ 60〃	345	1, 325	28	
3	5	29. 5	20 入 ── 22 c 37 〃 ── 8 〃	30	120	15	
計	35	183. 7	12入－409c　17入－201 c 13〃－149〃　20〃－143〃 14〃－120〃　30〃－312〃 15〃－230〃　35〃－165〃 37〃－ 91〃	1,820	7, 105	89	

第3表　大型定置標本船

項目／月	出漁日数	入網尾数 ブリ 大	ブリ 中	ブリ 小	ハマチ フクラゲ	ワラサ マルゴ	入網重量 kg	その他主要魚種入網重量
10	17	6尾	5尾		148尾		127. 6	サケ 0　カワハギ 5,970 メジ 157　マグロ 40 ヒラマサ 381
11	42	134〃	157〃	58尾	1, 450〃	4尾	4,109.4	サケ 38, 360 ゴンタ 6 ヒラマサ 215
12	27	161〃		3〃	2, 065〃		3,009.4	サケ 14, 120 ヤリイカ 2, 495 スズキ 430
計	86	301〃	162〃	61〃	3, 663〃	4〃	7,246.4	サケ 52,480　ヤリイカ 2, 495 メジ 157　スズキ 430 ヒラマサ 596　カワハギ 5, 970 マグロ 40

第4表　スルメイカ精密調査概要

項目／月	調査回数	調査尾数	性別	平均外套長 mm	平均体重 g	生殖腺重量 g	熟度	その他
8	2	53	♀	236.1	261.4	6.9	① 28 ② 8 ③ 17	交接 46尾
		47	♂	219.3	208.8	6.6	① 8 ② 6 ③ 23	
9	2	61	♀	234.8	258.7	10.2	① 23 ② 3 ③ 35	〃 45
		39	♂	218.9	220.5	6.2	① 8 ② 2 ③ 29	
10	3	60	♀	214.1	215.2	3.9	① 44 ② 0 ③ 15	〃 17
		84	♂	212.5	204.8	4.6	① 3 ② 7 ③ 1	
11	1	21	♀	203.7	192.7	0.3	① 21 ② 0 ③ 0	〃 0
		29	♂	200.8	185.9	2.4	① 27 ② 2 ③ 0	
12	0		♀					
			♂					

第5表　ヤリイカ精密調査概要

項目／月	調査回数	調査尾数	性別	平均外套長 mm	平均体重 g	生殖腺重量 g	熟度	その他
12	1	4	♀	19.2	105.5	2.0	① 2 ③ 2	交接 0
		46	♂	24.3	176.7	1.7	① 5 ③ 41	
1	3	64	♀	21.7	125.3	6.8	① 0 ③ 64	〃 29
		90	♂	27.0	197.7	2.2	① 0 ③ 90	
2	4	107	♀	21.5	113.1	7.1	① 0 ③107	〃 65
		109	♂	27.4	190.7	2.2	① 0 ③109	
3	3	71	♀	20.9	107.8	5.7	① 0 ③ 71	〃 38
		93	♂	28.1	199.3	1.7	① 0 ③ 93	

※　熟度，①未熟，②半熟，③成熟

第6表　スルメイカ雌雄別外套背長組成

調査月日	8・7		8・31		9・12		9・24		10・2		10・13		10・21		11・13	
性別 / 階級	♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♂
11																
12																
13									1							
14									1							
15									1	2	1					1
16										1	1	3				2
17									1	1	1	2	1		2	3
18									3		1	1	3	3	4	1
19			1	1	2		3	2	1	3	1	2	4	4	3	6
20	1	1		6	1	3	4	5	1	4	4	1	2	2	4	4
21	4	5	7	13	2	7	6	5	3	5	1	5	2	8	2	9
22	7	12	2	2	4	2	3	4	1	6		10	5	6	4	3
23	7	1	1		5	4	3	4	2	1	2	3		5	2	
24	4	1	6	4	6	2	3		3		1	3	1	1		
25	2		3	1	7		2		3		3			2		
26	3		2		3	1	3		2				1			
27			1		1		1		1		1					
28	1						2									
29	1															
30																
計	30	20	23	27	31	19	30	20	24	23	17	30	19	31	21	29

第7表　ヤリイカ雌雄別外套背長

調査月日	12・8		1・9		1・18		1・30		2・13		2・18		2・28		3・1		3・6		3・16		2・18	
性別 / 階級	♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♂
15～15.9																						
16～	1			1			1											1			1	
17～		2	1	1			1		1							1	1				1	2
18～	1	2		1	1		2				1				3		4		3		5	
19～	1	5			2		2	1	4		2		1		2		5		5		7	
20～		5			6	1	6	1	3	1	1	1	10	1	8	1	3	3	5	1	8	
21～		3	4	3	3		8	1	6	1	12	1	1	3	3	3	7		5	1	6	1
22～	1	5	1	2	2	1	7		4	1	6	1	2		1	3	2		2	3	3	
23～		1	3	3	2	2	4		2	2	2	1	1		3	3	1	4	1	1		
24～		4	1	3	1	4	1	2	4	1		4	4	2		4	2		3	2	3	4
25～		2	1	4	1	6	1			1		2	2	2	1	3		2		3	1	1
26～		5	1	1		3		4		3	1	3		2		3		3				6
27～		1			1	3		2		6		1	1	2		1		1	1	1		2
28～		3		5		2		1		2	1	5		2		1		1				2
29～		3		3		4		5		4		4		2		1		1		1		3
30～		1		2		1		2		2		1		2		1		2		1		3
31～		1				3		2		2		3		6		2		2		2		1
32～				1		2		2						3		4		3		3		1
33～		2		2								1				2		2		4		1
34～		1														2				1		
35～				1		1						1				1		4		2		
36～																1						
37～						1										1				1		
38～																						
計	4	46	12	33	19	34	33	23	24	26	26	29	22	27	21	37	25	29	25	27	35	27

※　深浦の捧受けで漁獲されたもので，他は鰺ケ沢の底建網で漁獲されたもの